

# 西国巡礼慈悲の道

西国第十六番

音羽山

清水寺

## 甘露の法雨

貫主 森 清範

水は、「水善く万物を利用す」というように、万物には欠くことが出来ません。

器が、自我でいっぱいになり、他に入る余地が無いからではないでしょうか。

生命の根源とも言えます。う。水は、空から雨となつて降り注ぎ大地を潤し、川となり大海へ流れ、また雲を変じて、空へ帰っていくのであります。この大自然のサイクルの中で、我々は活かされているのです。

一度、この器に充滿している自分を空っぽにして、観音さまから注がれる法の雨を、こころいっぱいからだいっぱい受け留めてみましょう。そして、あらゆるおかげで、活かされているという感謝のこころになつてみませんか。

実は、観音さまの大慈大悲も、この水のように、常に生きとし生けるものすべてに、平等に注がれているのです。これを「法雨」といい、大自然のサイクルのように、人は他者のおかげをもって活かされているのです。

それは、観世音菩薩と一心に称名することからはじまります。

当山は、宝亀九年（七七八）に開創されました。奈良子鳥寺の延鎮上人が「北に清泉を求めてゆけ」との霊夢をむけ、白雲たなびく音羽山麓の滝にたどり着きます。そこで、草庵をむすび練行中の行叡居士と出会い霊木を授けられます。後に延鎮上人は、その霊木で千手観音像を奉刻し、居士の旧庵に祀ったのが当寺のおこりです。

上田村麻呂公が妻室の安産のために鹿を求め上山し、滝のほとりで延鎮上人と出会います。そして、霊山の殺生を諭され、妻室共々深く観世音に帰依され仏殿を寄進し、御本尊に十一面千手観音さま、後に地藏尊、毘沙門天を両脇士としてお祀りされました。

音羽の滝は、開創以前より今も湧出する霊泉で、「清水寺」濫觴の由来であります。



## 観音風光

御本尊は、普通の十一面千手観音とは異なるお姿をされている。清水型千手観音像といい、左右最上の手を頭上高く挙げ一体の化仏を戴き、格別に殊勝な観音力を発揮されると尊崇される。また舞台造りの国宝・本堂はじめ重要文化財の十五堂塔の輪奐の美と、周囲の音羽山の景色が調和して観音浄土を彷彿させ、世界遺産にも登録されている。

西国第十六番

音羽山

 きよみずでら  
**清水寺**

きよみずでら

 きたほつそう  
 北法相宗

御本尊／十一面千手千眼観世音菩薩

 開基／延鎮上人  
えんちん

まつかぜや おとわのたきの きよみずを

むすぶこころは すずしかるらん

### 主な年中行事

正月元旦〜七日 修正会

新年にあたり無病息災・家内安全・万民豊楽・世界平和を祈禱。  
七日結願で牛玉宝印・御香水を授与する。

二月十五日 涅槃会

同日

中興開山良慶忌

三月五日

玄奘三蔵会

中国・日本の法相宗の基礎を築いた玄奘三蔵の年忌法要。

四月三日

清水の日

清水詣仰・環境浄化祈願。

五月二十三日

開山忌

八月一日〜五日 うらぼん法話

八月九・十日、十四日〜十六日 千日詣

十一月十三日 慈恩会 宗祖の年忌法要。

十一月十六日 落葉忌

幕末の勤王僧月照・信海兄弟上人の年忌法要。

毎月第二・第四日曜日 観音経読誦会

同日 仏教文化講座

春・秋 夜間拝観 青龍会（せいりゅうえ）

〒605-0862 京都市東山区清水一丁目294

TEL 075-551-1234 <http://www.kiyomizudera.or.jp>

納経時間 午前8時〜午後4時半

### 仏教用語一口解説

#### 十善戒の種類とは

『十善戒』とは、私たちが悪いことに染まらず善いことを心がけるよう、仏さまが示された戒律です。「戒」とは本来厳しいものですが、皆様には「よい習慣を身につける努力すべき道」と理解して頂くと良いでしょうか。『不殺生』『不偷盗』『不邪淫』『不妄語』『不綺語』『不悪口』『不両舌』『不慳貧』『不瞋恚』『不邪見』の10の戒があります。

[西国三十三所札所会ホームページ http://www.saikoku33.gr.jp](http://www.saikoku33.gr.jp)

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきます。